

地域社会とともに

次世代へのエネルギー・環境教育

■学校教育の支援活動

次代を担う子どもたちに「エネルギー」「環境」「食育」について学んでいただくため、小・中学校におうかがいし「出前授業」を実施しています。2013年度は、「地球の環境と天然ガス」「栄養いっぱい!手作りおやつ」など5プログラムを設定し、190校362回の出前授業を行いました。



出前授業

■食育活動

「食育」を推進するために、ウイズガスCLUB*が主催する「全国親子クッキングコンテスト」の東海大会を他ガス事業者と共同で実施しました。2013年度は3,465組の親子からご応募をいただきました。

また、当社の料理教室において、季節の行事にあわせて「親子クッキング教室」、妊婦を対象とした「マタニティ料理教室」、小・中学校を対象とした「PTA料理教室」を開催し、約1,000人の方にご参加いただきました。



全国親子クッキングコンテスト

*ウイズガスCLUB 住環境に携わる4つの団体(住宅関連業者、キッチン・バスメーカー、ガス機器メーカーおよびガス体エネルギー事業者)が設立した企業団体連合(コンソーシアム)。よりよい住まいや暮らし方へのご提案を協力してお客さまに行うことを目的としている

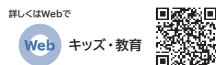
■ガスエネルギー館

ガスエネルギー館は、1985年に開館して以来、小・中学校の校外学習や子ども会行事などの機会を中心に、多くの方にご来館いただいています。

ガスエネルギー館では、「地球環境とエネルギー」をテーマに、楽しく学べる参加・体験型の展示を導入するなど、身近なところから環境の大切さを考えていただく機会を提供しています。また、親子を対象とした「環境学習イベント」、地元のボランティアや大学などと連携したイベントも随時開催しています。2013年度は、年間約3万6千人のお客さまにご来館いただきました。



実験ラボ



文化・スポーツを通じた貢献

■読書感想文コンクール「こころの木」

小・中学生の皆さんに読書の喜びを感じていただくとともに、自然と人との関わりについて考えていただくを目的に、読書感想文コンクールを実施しています。

13回目となった2013年度は、約6,600作品の応募をいただき、感動大賞をはじめとする74作品を表彰させていただきました。



「こころの木」表彰式

■東邦ガス旗争奪少年野球大会

地域のスポーツ振興と小・中学生の皆さんの健全な育成に貢献するため、日本少年野球連盟(ボーイズリーグ)愛知県西支部とともに、少年野球大会を開催しています。

21回目となった2013年度は、小学生9チーム、中学生26チームが参加し、4日間にわたって熱戦が繰り広げられました。



大会の開会式

TOPICS

ガスエネルギー館 来館者が100万人に

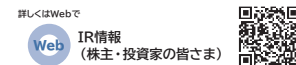
地域の皆さまに多くご来館いただき、2013年11月20日、累計来館者が100万人に達しました。記念式典では、100万人目となった名古屋市内の小学生に花束や記念品を贈呈し、人形アニメ「薪とカンタとしいい」とご鑑賞いただき、館内をご案内いたしました。

今後もより魅力のある施設となるよう設備・映像等の展示を工夫し、より多くのお客さまにお越しいただけるよう努めます。



ポットとともに記念撮影

株主・投資家の皆さまとともに



IR※活動

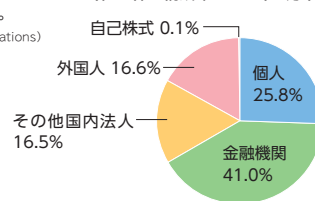
株主や投資家の皆さまに、当社グループの事業内容や経営方針に対する理解をより深めていただくため、また長期にわたってご支援いただくために、企業情報や財務情報の迅速かつ適切な開示に努めています。

機関投資家や証券アナリストの皆さまには、決算内容を中心に年4回の説明会を行うとともに、定期的な訪問や取材対応を通じて、関係者との対話を深めています。

個人投資家の皆さまには、ショールームや都市ガス工場・研究所を実際にご覧いただく施設見学や、料理教室やショールーム見学併催の会社説明会などを実施しています。ホームページについても、個人投資家向けコーナーを設け、会社情報やIRイベントのお知らせなど、タイムリーで分かりやすい情報発信に努めています。また、株主総会終了後には、当社経営陣が株主の皆さまと直接意見交換させていただく株主懇談会を実施しています。

※ IR (Investor Relations)
株主・投資家向け広報

当社の株主構成(2014年3月末)



機関投資家向け説明会

株主還元の方針

株主還元については、安定配当を基本とする中で、あわせて自己株の取得を機動的に実施します。

当社グループは、2014年3月に策定した「中期経営計画」の中でも掲げているように、経営の効率化やガス事業の着実な成長、グループ事業の強化などによって、営業キャッシュフローの拡大に努めます。このキャッシュフローは、健全で安定した財務基盤を維持しながら、新たな成長に向けた重点分野への戦略投資や株主さまへの還元などに、バランスよく配分します。

取引先さまとともに



購買活動

資材調達に関する基本姿勢「購買活動の行動基準」を示して、公平・公正な取引を進めるとともに、取引先さまへのお願い事項として「購買の基本方針」「グリーン調達ガイドライン」を定めています。取引先さまと協力して、法令遵守・環境配慮・安全性の確保などの社会的責任を果たすことを目指しています。

東邦ガス

購買活動の行動基準

オープン	公正
法令の遵守	相互信頼

購買の基本方針

グリーン調達ガイドライン

取引先さま

■グリーン調達

事務用品・ガス導管材料・工事作業などを対象に、環境負荷低減や生物多様性保全を図ることを目的に「グリーン調達」を実施しています。関係会社においても主要な12社でグリーン調達を行っています。

資材調達額の約8割は、環境マネジメント規格*を取得している取引先さまからの調達となっています。今後とも取引先さまと協力して環境への取り組みを推進します。

グリーン調達ガイドラインの主な内容	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー製品などの購入の促進 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進 低公害車の使用やエコドライブによるグリーン配送
-------------------	--

* 環境マネジメント規格 ISO14001・エコアクション21などの環境管理の仕組み

協力会社との協働

■ENEDO

リナス エネドゥ (52社)、およびエネドゥ (60社) は、お客様に、より安全で快適なガス機器をご利用いただくための窓口として、ガス機器の販売や修理、開閉栓などの幅広いサービスを提供しています。特に、リナス エネドゥではリフォームプランの提案からアフターケアまで、お客様のご要望にあわせた住まいの提案も行っています。また、災害発生時には、早期復旧のための協力体制を構築しています。

■ガス工事会社

当社管内には、ガス工事会社が116社あり、ガス導管の敷設工事や維持管理業務を行っています。各種講習会を定期的に開催するなど、業務に必要な知識や技術の習得、各種資格取得を支援しています。さらに、災害発生時には、ガス工事会社から所要の人員および資機材の提供を受けるなど、協力体制を構築しています。

従業員とともに

雇用と人材育成

■人材の確保と活用

従業員の状況

従業員数(人)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)
2,860	42.8	21.2

注) 2014年3月末時点。出向者は含まず

▶公正・公平な採用

「柔軟な発想・既存にとらわれない考えとそれを成し遂げる挑戦的実行力を持った方」の採用を目指しています。採用にあたっては、当社ホームページ・説明会などにより採用情報を公開し、公正かつ公平な選考を実施しています。

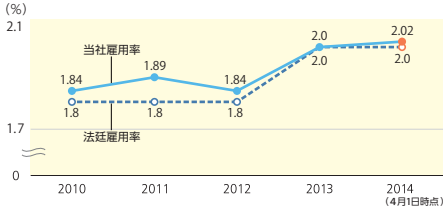
▶高齢者雇用

定年退職従業員の中で、働き続ける意欲がある希望者を再雇用する「シニアエキスパート制度」を導入しています。多くの定年退職者の方が、長年培ってきた技術・技能・専門知識・経験を発揮し、定年後も引き続き活躍しています。

▶障がい者雇用

障がい者の自立と社会参加を支援するため、積極的な雇用に取り組んでいます。

障がい者雇用率



■人事処遇制度

「業績・成果の重視」「多様な人材の活用」「自立的な人材の育成」などを目的に、「複線型役割等級制度※」や「役

割遂行・目標管理制度」などを採用しています。仕事を通して個人の成長を促進するとともに、業績・成果やそのプロセスを適切に評価することで、納得感と緊張感のある処遇を目指しています。

※ 複線型役割等級制度 自らの能力や適性にあわせて複数のコースから進路を選択することができる。役割をベースとした人事処遇制度

■人材の育成

「持続的な企業発展の源泉は人材である」との認識のもと、採用や処遇・育成を含めた総合的な人材強化に努めています。若手から管理層にいたる全従業員が期待される役割を發揮し、成果に結び付けることができるよう、集合研修、自己啓発支援、OJTの3本柱を中心とした人材育成を行い、従業員の自立的な能力開発を支援しています。

	若手層	中堅層	管理職層
集合研修	階層別研修		
	選択別研修	役割別研修	
	選択型研修(マイセルフプログラム)		
自己啓発支援	公的資格		
	通信教育・社外研修		
	社外留学・社内認定試験など		
OJT	OJT (On-the-Job Training 仕事を通じた能力開発)		

働きやすい環境づくり

■ワークライフバランスの推進

▶労務コンプライアンスの遵守

適正な労働時間管理に向けて労使による委員会を開催し、管理方法や業務の見直しなど、働き方の変革を検討・実施するとともに、「労働時間相談窓口」を労使双方に設置し、個別の相談や問い合わせに対応しています。

▶仕事と子育て・介護の両立支援

子育て・介護支援制度を充実させ、仕事との両立を支援しています。子育て支援では、育児休業は妊娠中から子が満3歳に達するまでのうち通算2年間、短時間勤務制度は妊娠中から子が小学校1年生の年度末まで取得可能としています。また、介護では、介護休業を短時間勤務期間とあわせて2年間取得できるようにするなど、より働きやすい環境の整備を進めています。

育児・介護休業取得者

年度	2009	2010	2011	2012	2013
育児休業取得者	23	19	24	17	20
介護休業取得者	2	3	1	1	0

(単位:人)

■職場コミュニケーション

毎年、当社グループ会社の従業員および家族を対象に、会社見学会を開催しています。会社施設の見学や業務の疑似体験などを通じて、職場コミュニケーションの向上、当社の事業や業務の理解促進を図っています。



親子料理教室

従業員の声

東邦ガス情報システム(株) 運用サービス部

桜井 努

2013年8月9日に行われた会社見学会に親子4人で参加し、緊急時に対応する工作車への試乗やガス安全点検体験などガス会社の仕事を体験しました。子どもは自分の名前が書かれたオリジナル名刺を使った名刺交換も体験しました。

子どもたちは親が働く職場を間近に見ることで、東邦ガスという会社に対して、これまで以上に親しみを持ってくれました。



■人権の尊重

「企業倫理行動指針」「コンプライアンス行動基準」で、国籍・身体障がいなどによる差別の禁止や個人の人格の尊重を掲げ、実践することを徹底しています。また、セクハラ・パワハラ相談窓口を設置するなどの取り組みを進めています。

■対話重視の労使関係

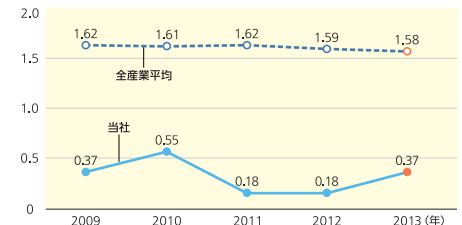
労働組合との対話を重視し、相互の信頼に基づいた健全かつ良好な労使関係を継続するため、労使協議会や経営懇談会などを定期的に開催し、相互理解を図っています。

安全衛生への取り組み

■安全衛生活動方針・推進体制

安全で健康に働ける職場環境を構築するため、災害を撲滅し、健康で活力のある職場づくりに取り組んでいます。社長を委員長とする「中央安全衛生委員会」を開催し、全社安全衛生活動を推進しています。

休業度数率※



※ 休業度数率=労働災害の発生率を表す安全指標の1つ。延べ労働時間100万時間あたりの労働災害による休業件数によって、災害発生頻度を表す
休業度数率=(休業件数)/(労働者の延べ労働時間数)×1,000,000

■グループ全体での安全衛生活動

関係会社とは、安全衛生活動の共有化を図るとともに、労働災害防止教育やメンタルヘルズ講習会を連携して開催しています。また、協力を促す「安全衛生協議会」を組織し、パトロールを一緒に行うなど、当社グループ全体で災害防止に努めています。

■健康づくり活動

身体の健康づくり活動では、胃・歯科検診、個別面談などを加えた総合健康診断を実施し、「若年時からの健康づくりの促進と生活習慣病の予防」を徹底しています。また、メタボリック症候群対策として、2008年から特定健康診査と特定保健指導を実施しています。

心の健康づくり活動では、従業員・管理監督者教育および専門医による心の健康相談の充実などを進めています。

■「ゼロ災害」に向けて

災害情報の周知や再発防止の徹底、各種教育など多岐にわたる活動を行っています。特に、運転者認定制度は、若年者などへの的確な指導により、交通災害防止に効果を上げています。



経営の透明性・健全性の確保

当社グループは、公明正大で透明性のある経営体制を構築するとともに、法令の遵守はもちろんのこと、社会の良識を尊重し、誠実かつ公正な企業活動の展開に努めています。

コーポレート・ガバナンス



コーポレート・ガバナンス体制

■経営体制

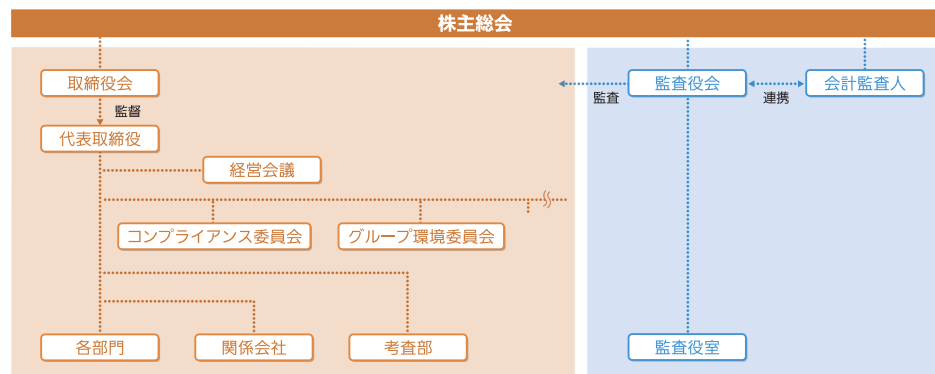
当社では、取締役会は、社外取締役1名を含む9名の取締役で構成されており、取締役会規程に基づき、関係会社を含めた当社グループ全体の重要事項の意思決定と、取締役および執行役員の職務執行の監督を行っています。また、業務執行機能の強化と責任の明確化を図るため執行役員制度を採用するとともに、経営会議を設置し、取締役会で定められた基本方針に基づき、経営に関する重要事項の審議や本部・部門間の連携および相互牽制の強化を図っています。個別の重要事項については、コンプライアンス委員会、グループ環境委員会など、社長や各担当役員が委員長を務める各種の委員会で審議を行った上で、経営会議に諮っています。

■監査体制

当社では、監査役会は、社外監査役3名を含む5名の監査役で構成されています。各監査役は、監査役会で策定した監査計画に基づき実施する調査や取締役会などの重要会議への出席などを通じて、取締役の職務執行を監査しています。このほか、監査役をサポートする専従のスタッフとして監査役室を置き、監査機能の充実を図っています。

内部監査組織である考査部は、関係会社を含め、業務が適正かつ効率的に行われているかについて、監査計画に基づき監査しています。助言などを含めた監査結果については、会長・社長・担当役員・監査役・被監査部門に速やかに報告しています。

コーポレート・ガバナンス体制図



内部統制

当社グループでは、事業を適正かつ効率的に運営するため、会社法に定める内部統制システムの基本方針として、「業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）の整備」を取締役会で決議し、それに基づき、コンプライアンスの徹底やリスクの低減などを推進しています。

金融商品取引法における「財務報告に係る内部統制報告制度」へ対応するため、社内ルールやチェックの仕組みが適切に整備、運用されているかについて、関係する部署および関係会社が自己点検を行い、さらに考査部が評価を行った上で、監査法人の監査を受けました。その結果、当社グループの財務報告に係る内部統制は、有効であることを確認し、金融庁へ内部統制報告書を提出しています。

リスク管理

当社グループでは、事業に係るリスクを低減するため、リスク管理規程を定め、担当役員の責任のもと、主管部署が関係する部署と連携して、リスクの把握、評価および対応を行い、リスクの管理状況を、経営会議および取締役会に報告しています。

事業環境、原料調達、財務、業務活動、災害、コンプライアンスに関わる重要なリスクについては、経営会議に付議し、対応の基本方針を定めるとともに、本部・部門間の連携および相互牽制を確保しています。複数の部門にまたがる横断的な重要課題については委員会を設け、その検討結果を経営会議に報告し、課題・情報の共有化を図っています。

コンプライアンス



コンプライアンスへの取り組み

当社は、コンプライアンスを社会やお客さまからの信頼を得るための土台と考えています。従業員一人ひとりが、公益事業に働く者としての自覚と強い使命感、責任感をもって役割を果たしていくことにより、お客さまの信頼にお応えし、地域社会の発展に貢献するよう努めています。関係会社を含めた当社グループ全体で、教育や社内管理体制の強化などコンプライアンスの徹底に取り組んでいます。

コンプライアンス行動基準

当社は、企業倫理行動指針の内容を具体化し、会社の姿勢や一人ひとりの行動基準、業務関連法令などをまとめたコンプライアンス行動基準を2003年に制定し、従業員の業務遂行上の判断のよりどころとしています。2011年には、環境関係法令、反社会的勢力排除などに関する項目について改定を行いました。

コンプライアンス推進体制

当社は、適正な企業行動を実践していくため、社長を委員長とし、各本部の本部長、労働組合の委員長などを委員とするコンプライアンス委員会を設置し、事務局としてコンプライアンス部を置いています。関係会社においても、行動基準の制定やコンプライアンス委員会の設置、担当役員の選任などを行っています。

また、コンプライアンス相談窓口を社内と社外に設置しており、コンプライアンスに関する指摘が、従業員から直接経営層に伝わるようにしています。2013年度は当社グループの相談窓口担当者を対象に、弁護士による講習会を実施しました。なお、2013年度は18件の相談が寄せられました。

教育・周知活動

当社は、コンプライアンスに対する従業員の意識向上を図るため、教育・周知活動を行っています。2013年度は、当社と関係会社のチーフ層を対象に、職場でのコンプライアンス推進の中核を担う役割を再認識する研修を実施しました。

当社グループの全職場では、コンプライアンス事例集やチェックリストを活用し、定期的にコンプライアンスミーティングを実施しています。その中で、違反事例の再発・風化防止や、コンプライアンスに対する意識のさらなる向上、職場でのコミュニケーションの活性化を図っています。

また、コンプライアンス意識や職場風土に関する意識調査

を実施し、コンプライアンス活動に反映させるとともに、社内報やイントラネットを活用し、定期的に情報提供を行っています。

TOPICS

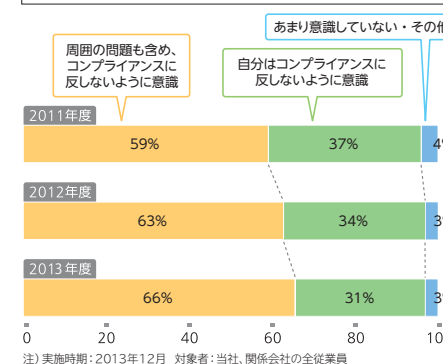
グループ全体でのコンプライアンス研修

当社と関係会社のチーフ層を対象に、合同でコンプライアンス研修を実施しました。また、協力会社であるENEDO 各社の経営層、ガス工事会社の監理士を対象に、各社の業務に関連する法令についての研修も行い、グループ全体でのコンプライアンスの推進に取り組んでいます。



意識調査の主な結果

業務を行ううえで、コンプライアンスをどの程度意識しているか



個人情報の保護

当社は、個人情報保護法およびガイドラインに沿った、個人情報の適正な管理・運用を徹底するため、個人情報保護委員会を設置し、個人情報の大量漏えい防止策の検討やフォローを行っています。個人情報へのアクセス制限、インターネットからの不正侵入対策などの情報システムのセキュリティ対策を強化するとともに、各職場では、個人情報管理および委託先監督の状況などについて定期的に自主監査を実施しています。

有識者コメント

■東邦ガスグループの環境・社会の取り組みに関するコメント



芝浦工業大学
工学部 建築工学科 教授
秋元 孝之
(あきもと たかし)

住宅・建築物部門におけるエネルギー消費量は、全体の3割以上を占め、かつ過去20年間に著しく増加している。また、東日本大震災を契機として国内のエネルギー需給が大きく変化するとともに、国民のエネルギー・地球温暖化等に関する意識が向上しつつある。2012年には13年ぶりに省エネ基準が見直しされ、住宅と建築物の省エネ基準は、外皮性能基準および外皮+設備による一次エネルギー消費量基準に改正される大きなパラダイムシフトが起こった。政府発表によると、2020年までにすべての建物の省エネ基準

への適合を段階的に義務化することになっており、そのためには建物躯体の工夫や再生可能エネルギーの利活用、高効率な設備機器の導入を行うことによる建物や住宅のゼロエネルギー化が求められる。東邦ガスによる家庭用燃料電池システムや業務用ガスコージェネレーションシステムの普及は、まさにこれを後押しする重要な取り組みである。

近年頃に、住宅・建築物を取り巻く技術の開発スピードが著しい。1989年に公開されたハリウッド映画『Back to the Future Part 2』は、30年後の2015年にタイムトラベルするという奇想天外な話であったのだが、当時、我々を驚愕させた作品中の技術の数々は既に商品化されて、今や日常生活に欠かせないアイテムとなりつつある。現在、BEMSやHEMSも知る人ぞ知る汎用技術である。スマートエネルギーや水素エネルギーに関する技術開発においても大変画期的な成果があげられている。

東邦ガスには、今後もガスの安定供給や安全・安心の確保に加えて、引き続き環境調和型社会実現の先導して頂くことを大いに期待したい。

地域の皆さまからのご意見

■環境社会ダイアログ

当社の環境や社会面の取り組みについて、東海3県の環境カウンセラー・消費生活アドバイザーの方々との意見交換会を実施し、ご意見をいただきました。



環境社会ダイアログ



環境社会ダイアログの参加者

主なご指摘・ご意見	ご指摘・ご意見を受けて
スマートタウンには太陽光パネルに加え、太陽熱パネルの絵が描かれています。東邦ガスのスマートハウスには太陽熱パネルが設置されていませんが、太陽熱の有効活用もあるのではないかと思います。それぞれのユーザーにとって最適（効率+価格）な使用方法の追求をお願いします。	当社は2013年に創立100周年に向けてグループビジョンを制定しました。その中で東邦ガスグループが目指す姿と4つの挑戦に取り組むことを約束しています。「低廉なエネルギー」を安定してお届けすること、お客さま「一人ひとりの最適なエネルギー利用」を実現することなどです。お客さまの期待にお応えできるよう努力してまいります。
地震・津波対策について、LNG工場はしっかり対策ができていますと感じましたが、会社のその他の施設に対してさらなる対策はあるのでしょうか。	非常用電源の設置場所のかさ上げや増設対策、重要建物の扉補強等のハード対策に加え、防災訓練の強化等ソフト面の対策も充実してまいります。
意見交換会を毎年実施し「face to face」で地域の方々の声を吸い上げ、お客さま目線で報告書に反映させようとしている姿勢は評価できます。今後も継続して開催してください。	地域にお住まいの様々な方々から、できるだけ多くの声をいただきたいと考えています。今後も継続して意見交換できる機会をつくって参ります。

外部機関からの評価

■環境経営度調査

日本経済新聞社が実施した第17回「企業の環境経営度」調査の評価は621点で、電力・ガスの業種およびガス業界でともに第2位でした。

■SRI[®]インデックス

世界の二大SRIインデックスの一つであるFTSE4Goodの株式指数に、2008年から採用されています。
※ SRI (Socially Responsible Investment) 社会的責任投資のこと

外部表彰実績

2013年度は以下の表彰認定をいただきました。

名称	年月	主催者	対象
映文連アワード2013 ソーシャル・コミュニケーション部門 優秀賞	2013年12月	公益社団法人映像文化製作者連盟	人形アニメ 「薪とカンタとじいじと。」
御嵩町から環境功労者表彰を受賞	2014年 2月	御嵩町	コナン号による環境PR
資源循環型ものづくりシンポジウム 資源循環型ものづくり研究会技術賞	2013年12月	資源循環型ものづくり シンポジウム実行委員会	高効率シングルエンドラジアン チューブバーナの開発
日本機械工業連合会会長賞	2014年 2月	日本機械工業連合会	プレートノズル式直管ラジアン チューブバーナ (SRTNシリーズ)

TOPICS

ガスエネルギー館のアニメが映像コンクールで受賞

子どもたちに環境やエネルギーについて学んでいただくきっかけとしてガスエネルギー館で上映している人形アニメ「薪とカンタとじいじと。」が、2013年度に映文連アワード2013をはじめとする国内外の映像コンクールで相次ぎ受賞しました。

また2014年5月にはアジア最大級の国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル&アジア」の「地球を救え!」部門で優秀賞（環境大臣賞）をいただきました。



「薪とカンタとじいじと。」

環境・社会報告書 2014

報告対象期間	2013年度 (2013年4月1日～2014年3月31日) なお、活動内容の一部には、2014年度も含まれています。	報告分野	会社概要、環境活動、社会活動
報告対象範囲と 環境負荷の捕捉状況	東邦ガス株式会社および関係会社 (連結決算組織の100%) 東邦ガスグループの活動に密接に関係するものとして、 協力会社 (ENEDO、ガス工事会社) の活動の一部も加えています。	発刊年月	2014年8月
		次回発刊予定	2015年8月
		作成部署	調査部・環境部 Tel (052) 872-9202 (調査部) (052) 872-9252 (環境部)

●本報告書はホームページでもご覧いただくことができます。▶ www.tohogas.co.jp
●本報告書におけるイラストおよび写真の一部はイメージです。 ●QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。



TOHO GAS

東邦ガス株式会社

〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19-18

環境・社会報告書2014はホームページでもご覧いただけます。

www.tohogas.co.jp



ユニバーサル デザインフォント

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザインフォント(書体)を使用しています。



無塩素漂白(EOF) パルプ使用紙

漂白に、脱色後タイオキシソニに変化すると言われる、塩素ガスを使っていないフロッシユパルプを使用しています。



水なし印刷方式

インキ反発性物質としての湿し水が不要になり、廃液による汚染がない環境に優しい印刷方式です。



植物油インキ

再生産可能な大豆油、亜麻仁油、桐油、ヤシ油、パーム油等植物油由来の油、およびそれらを主体とした廃食用油などをリサイクルした再生油を使用したインキを使用しています。